

鳥取県方言における傷病・症状語彙に関する記述的考察

岡野 幸夫¹・土居 裕美子²

Yukio OKANO, Yumiko DOI : Descriptive Study on Vocabulary of Illness and Symptoms in Tottori Dialect

鳥取県方言を収録した文献資料に基づいて、傷病・症状を意味する方言語彙を収集し、全体像の把握と記述的考察を試みた。量的には病気語彙が最も多く、症状語彙、感覚語彙がそれに次ぎ、怪我語彙は少なかった。この他に関連するものとして、生理現象や体質、性向などを意味する語彙も比較的多く収集できた。また、病気語彙では漢語由来の語形が多くみられること、症状語彙ではニュアンスの違いに応じて語彙を多彩に分化させていることなどが明らかになった。

キーワード：鳥取県方言 傷病 症状 語彙 文献方言学

はじめに

本稿は、鳥取県方言を収録した文献資料に基づいて、傷病・症状を意味する語彙を収集し、語彙の全体像を把握するとともに、そこに認められる特徴について記述的に考察を加えることを目的とする。これによって、ある特定の時期における当該意味分野の語彙の全体像を把握することができる。そして将来的には、当該意味分野の語彙の歴史的变化を考察するために方言の実地調査を行う際の基礎資料として、本稿の成果を活用することが期待される。

鳥取県方言を収録した文献資料としては、主に森下 1999 を用いる。本書は、鳥取大学教授（当時）であった森下喜一氏が、自身の調査データや既存の方言資料を用いてまとめたものであり、初めてにして現在に至るまで唯一の、公刊された鳥取県の方言辞典である。これを補助するものとして、石黒 1957、広戸 1965、室山 1998 を用いる。石黒 1957 は岡野 2014 でその資料性について検証したが、鳥取県方言の分布の実態を明らかにすべく、全 600 項

目について県内 185 か所をくまなく調査した非常な労作であり、鳥取県内の方言分布の状況が詳細に確認できる。広戸 1965 は中国地方 5 県の方言分布を地図にまとめたものであり、近隣地域の方言分布を確認する際に参考となる。室山 1998 は鳥取県方言に関する概説はもちろん、方言区画、基礎語彙、俚諺をも含む総合的な内容になっているが、本稿に関しては森下 1999 の方が詳細なデータが得られたため、参考にとどめる。

以下、森下 1999 から傷病・症状に関する語彙を抽出して分類し、各グループについて概観した上でそこに認められる特徴を指摘する。

1. 語彙の全体像

森下 1999 の方言辞典部分である p. 24 「あー」項から p. 472 「んももない」項までを通覧し、傷病・症状を意味する見出語を抽出した。また、抽出漏れを防ぐため、標準語から方言語形を検索できるようになっている索引 (pp. 473-553) も通覧して二重チェックを行った。以上の手順によって、合計 606 語の方言語彙を得ることができた^{注1)}。これを大きく体言的表現の「傷病」と用言的表現の「症状」、および「その他」に分類する。さらに「傷病」を「病

1 鳥取短期大学国際文化交流学科

2 鳥取看護大学看護学部看護学科

気」「怪我」に細分した。この分類結果を図1に示す。

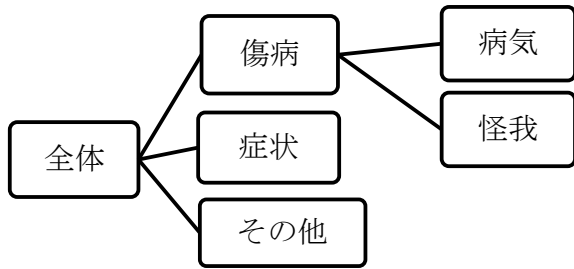


図1 語彙の分類

「病気」には具体的な病名を意味する名詞を含めるが、〈あかぎれ〉や〈ぎっくり腰〉など、怪我との区別がやや悩ましいものも含めている。「怪我」には外傷を意味する名詞を含めた。「症状」には〈咳〉などの名詞、〈苦しむ〉などの動詞、〈痛い〉などの形容詞などを含めている。「その他」には、以上に含められないもの、例えば〈生理現象〉〈体質〉〈性向〉〈体液〉〈吐瀉物〉〈排泄物〉など、傷病や症状に関連するものを含めた。表1に分類した結果を示す。また、稿末の各語彙の一覧(別表1~4)も参照されたい^{註2)}。

表1 種別ごとの語彙量

	病気	怪我	症状	他	合計
語数	235	16	203	152	606
%	38.8	2.6	33.5	25.1	100.0

表1によると、語彙量が最も多いのは病気語彙で、全体の4割弱を占める。次いで症状語彙が3割強、その他の語彙が2割強を占める。怪我語彙はごくわずかしか見られない。以下、各語彙についてさらに検討を加えていく。

2. 傷病語彙

本節における、〈 〉で括った概念名称は、森下1999における名称に従う。

(1) 病気語彙

稿末の別表1に病気語彙を一覧した。この語彙

グループにおいて特徴的なことは、漢語出自のものが多ということである。以下に整理して示す(語の前の数字は別表の通し番号を示す。以下同じ)。

〈風邪〉29 がいき(咳気), 30 がいけ, 48 ぎゃーけ, 66 げーけ, 69 けんびきかぜ(肩癬風邪)

※「がいけ」「ぎゃーけ」「げーけ」は「がいき」が変化したもの。

〈流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)〉25 おたふくがいき(お多福咳気)

〈肩こり〉68 けんびき, 70 けんぶき, 71 けんべき
※いずれも「肩癬(けんべき)」が変化したもの。

〈めまい, 日射病〉144 はくらみ, 145 はくらん
※いずれも「霍乱(かくらん)」が変化したもの。

〈慢性胃カタル〉223 りゅーいん(溜飲)

〈中風〉100 そっびょー(卒病), 103 ちーき, 107 つーき

※「ちーき」「つーき」は「中気(ちゅうき)」が変化したもの。

〈リューマチ〉168 ふーしつ(風疾)

〈肺病〉142 はいろー(肺癆)

〈持病〉81 じびゃ, 83 じべ

※いずれも「持病(じびょう)」が変化したもの。

〈疫病〉214 やく(疫), 215 やくびゃ(疫病)

〈チフス〉89 しょーかん(傷寒), 139 ねつびょー(熱病)

〈マラリア〉50 ぎゃく(瘧)

〈ハンセン病〉73 ごーびょー(業病), 222 らーびょー(癩病), 224 れーびょー

※「らーびょー」「れーびょー」は「癩病(らいびょう)」が変化したもの。

以上、音変化したものも含め、27語(病気語彙全体の1割強)を数える。これらの語のうちいくつかは、医学書か、それを学んだ医者を通じて方言語彙として定着したと考えられる。試みに『日本国語大辞典 第二版』(文献7)を検すると、以下のよう
な例が見つかる^{註3)}。

- ・『医心方』。丹波康頼編，984年成，医書（「しょうかん【傷寒】」「癩病【らいびょう】」「りゅういん【溜飲】」の項）
- ・『病名彙解』。蘆川桂洲編，1686年刊，医学（「けんぺき【疥癬・肩癬】」「しょうかん【傷寒】」「ちゅうき【中気】」「りゅういん【溜飲】」の項）
- ・『医語類聚』。奥山虎章編，1872年刊，医学辞典（「はいろう【肺勞・肺癆】」の項）

上に挙げたもの以外でも，上記の27語について『日本国語大辞典 第二版』を検索すると，古くは奈良時代，平安時代からの例文が見られるものが多く，生活の中に漢語語彙が定着していた様子がうかがえる。今後，鳥取県における医学の歴史，とりわけ医者由来の来歴や医学書の伝来について解明が進めば，さらに詳しいことが分かるのではないと思われるが，それは今後の課題としたい。

この他，古語の残存と思われるもの（5あかがり，21いたずき，33かったい，210もがさなど）や，地域性を表すもの（18いきやけ，218ゆきやけ）が見られたが，現在のところ詳細を検討する準備がないため，ここでは指摘するにとどめる^{注4)}。

(2) 怪我語彙

稿末の別表2に怪我語彙を一覧した。全部で16語しかなく，しかもその半数以上が総称的な〈怪我〉〈傷〉を意味するものである。具体的な怪我の名称といえるものは以下に示すもの程度である。

- 〈あざ，皮下出血〉5あらぎ，13ちまぐろ，16ほやけ
- 〈床ずれ〉11しきね
- 〈鼻緒ずれ〉12ぞーりくい
- 〈化膿〉15ほーちゃく

総称的に〈怪我〉を意味するものには，1あーまち，2あーまつ，3あいまち，4あえまずのように，「過ち／過つ」を語源とするものが見られる（とくに3あいまちは鳥取県下に広く分布する）。造語発想と

しては，故意ではなく過失によって怪我をする，という意識があるのであろう。但し，怪我のことを「あやまち」という方言は東北から九州まで，日本全国に広く認められ，鳥取県に特徴的な造語発想というわけではない^{注5)}。

3. 症状語彙

稿末の別表3に症状語彙を一覧した。品詞別の内訳は，名詞16語（7.9%），動詞126語（62.1%），形容詞48語（23.6%），その他（形容動詞，副詞，句，連語）13語（6.4%）であり，動詞が最も多い。

名詞の類には〈咳〉と〈痺れ〉の二種類しか見られない。このうち，咳にはオノマトベに由来するものが多い（1こち，2こつ，3こつこつ，4こつり，5こほん，6こんこ，7こんこん）。鳥取県下の分布を見ると，「こつ」系（1～3）は中部から西部にかけて分布し，「こん」系（5～7）は中部（東伯郡）にのみ分布する。4は「鳥辞」にのみ掲載された語形で，分布域は不明である。オノマトベによる直覺的な語形成が行われていることから，或いは幼児語の可能性もある。以下に示すように，オノマトベに由来する語形は動詞の類にも多く見られる。

- 33うざうざする，98たじくじする，99たわたわする，116ひよろずく，117ひよろひよろする，118ひよろめく，119ふーつく，120ふらずく，124へろずく，133むかずく，138よろける，139よろつく，140よろほう，196ぞんぞがつく

近年，オノマトベを切り口とした方言研究が盛んにおこなわれるようになっており^{注6)}，鳥取県方言の当該分野の語彙に見られるオノマトベについても分析を進めることが必要であるが，それは今後の課題としたい。この他，古語の残存と思われるもの（14しわぶき，15ずわぶき）が見られたが，これも現在のところ詳細を検討する準備がないため，指摘するにとどめる。

動詞の類については，上述したオノマトベ由来の

ものと、古語の残存と思われるものが見られた以外は、いまだ分析が進んでいないため、古語の残存と思われるものを以下に列記するにとどめる。

24 あずる, 32 うぐう, 56 かせる, 89 すばる, 93 せぐる, 96 たぐる

形容詞の類に認められる特徴としては、〈苦しい〉を意味する語彙の豊富さである。語形を分類、整理して以下に示す。

〈いたい系〉144 いたしー, 150 えたしー

〈えらい系〉147 いらい, 193 えらい

〈しんどい系〉176 しんど, 177 しんどい

〈ずちない系〉170 じしない, 172 じつない, 173 じゅしない, 174 じゅつない, 178 ずしにゃ, 179 ずすない, 180 ずつない

〈せつない系〉182 せちね, 183 せつい, 184 せつない, 185 せつにゃー

〈なんぎ系〉191 なんぎ

鳥取県下の分布を見ると、〈えらい系〉が県下の全市郡に分布している他、〈しんどい系〉〈なんぎ系〉も広く分布している。この3つが鳥取県における地域共通語として用いられ、他の語形が共通語化によって衰退した現在でも用いられ続けているのではないと思われる。また、〈いたい系〉は県西部を中心に、〈せつない系〉は県中部から西部にかけて分布している。〈ずちない系〉は古語「ずちなし(術無し)」の変化形で、様々なバリエーションがあるが、その多くは文献に掲載されたものしか確認できず、現在では消滅してしまったと思われる。この分布状況は、石黒 1957 : p. 340 にある第 65 図「くるしー(苦)」の分布ともよく一致する。

さて、〈えらい系〉〈しんどい系〉〈なんぎ系〉が鳥取県下で広く用いられていると考えたが、これらがすべて同じ「苦しい」という意味を表しているとは考えにくい。基本的な意味が共通していても、ニュ

アンスや「含み」に何らかの違いがないならば、複数の形式が存在する必要がないからである。この3つの系に存在するであろう意味の相違を、今後の現地調査で解明する必要がある^{注7)}。

4. その他の語彙

稿末の別表 4 にその他の語彙を一覧した。この語彙グループの特徴として、全国的に見ても一般的でない造語発想を用いているのではないと思われるものが見つかった。それは〈屁, 放屁〉を意味する 67 たいほー, 100 ぷー, 107 ほん である。後の 2 つはオノマトペで、音として捉える発想を用いている。これは一見あたりまえの発想に思えるが、調べてみると意外なことにほとんど見つからない。『日本方言大辞典』(文献 4)でも、沖縄県の一部で同様の発想が用いられているのが確認できる程度である。音として捉える発想法自体は、鳥取県方言でも「雷」や「メンコ」の方言に見られる^{注8)}ことから、発想法それ自体は珍しいものではないものの、それを〈屁, 放屁〉に対して用いているところが独特なのである。

また、67 たいほー(大砲)については、誇張も甚だしいと言わざるを得ない。これについても、全国的に〈屁, 放屁〉についてそのような極度に誇張する発想法を用いたものが見られないことから、鳥取県方言に特徴的なものと認められる。

このような発想法は、滑稽さや可笑しみを生み出す、いわば生活を楽しむ姿勢や態度から生まれたものと考えられる。いずれの語形も県下に広く分布しているとは言えないが、その存在は確実である。生真面目な鳥取県の県民性からは意外な印象を受けるが、そのような一面も持っているものと考えられることとしたい。

おわりに

本稿では、森下 1999 を用いて、鳥取県方言にお

ける傷病・症状語彙を収集、分類し、語彙の全体像を把握した上で、各語彙グループについて記述的に考察した。その結果、病気語彙では、漢語由来のものが多く見られることが分かった。怪我語彙では、全国的に見れば一般的な造語発想を用いて語形成を行っていることが分かった。また、症状語彙では、オノマトペを用いて様々な語形が派生していることや、〈苦しい〉を意味する複数の系で地域共通語が認められることが明らかになった。その他の語彙では、全国的に見てもあまり類のない発想法を用いているものがあることが分かった。

今後は、以上の事柄を踏まえて、それぞれについて全国の方言分布の状況と比較するなど、さらに詳しく考察を進めていく必要がある。そうすることによって、伝統的な方言が衰退しつつある（或いはすでに衰退した）鳥取県において、文献を用いた方言研究の可能性を広げ、文化史の成果とも連携して鳥取県の人々の「ことば」を解明する一助としたい。

注

- 1) 森下 1999 が何語の方言語彙を収録しているかは明記されておらず不明であるが、1 ページあたりの見出し語数は約 25 語であり、これをページ数（方言辞典部分は 448 ページある）で概算すると 1 万 1,000 語強となる。
- 2) 別表 1~4 は、「品詞」の列を優先順位第 1 位、「見出語」の列を第 2 位として配列している。「日」~「八」の列は、それぞれ日野郡、境港市、米子市、西伯郡、倉吉市、東伯郡、気高郡、鳥取市、岩美郡、八頭郡の頭文字である（いわゆる平成の大合併前の行政区分による）。表中の「○」印は、その見出語がその市郡で用いられていることを示す。また、使用地域が不明なものは参考資料名を「他」列に示す。「鳥辞」「鳥こ」「境史」「羽史」「江史」「日誌」は、森下 1999 が参考資料として用いた鳥取県の方言資料の略称である。詳細は本書に拠りたい。
- 3) 各項目の例文に現れる文献名を、別巻の「主要

出典一覧」に照らして確認した。

- 4) いわゆる〈しもやけ〉を意味する「いきやけ」「ゆきやけ」については、「ゆきやけ（雪焼け）」の全国的な分布が豪雪地帯とほぼ重なることが徳川 1979 : pp. 89-90 で指摘されている。日常生活感覚が方言の語形成と密接に関連していることを示す好個の例といえる。
- 5) 『日本方言大辞典』（文献 4）の「あやまち」の項の記述による。
- 6) 小林 2018 など、同氏の一連の著作。
- 7) この 3 つの系に限らず、稿末の別表 1~4 に掲げた個々の方言語形について情報を持つ読者におかれては、著者に教示を賜れば幸甚である。
- 8) 石黒 1957 : p. 295 にある第 20 図「かみなり（雷）」に見られる「どんどろけ」「ごろごろさん」などの語形や、同じく p. 329 にある第 54 図「めんこ（面子）」に見られる「ぱっちん」「べったり」などの語形。

引用・参考文献

- 1) 石黒武顕『鳥取県方言分布の実態』、私家版、1957。
- 2) 広戸惇『中国地方五県言語地図』、風間書房、1965。
- 3) 徳川宗賢『日本の方言地図』（中公新書）、中央公論社、1979。
- 4) 小学館国語辞典編集部『日本方言大辞典』全 3 巻、小学館、1989。
- 5) 室山敏昭『鳥取県のことば』（日本のことばシリーズ 31）、明治書院、1998。
- 6) 森下喜一『鳥取県方言辞典』、富士書店、1999。
- 7) 日本国語大辞典第二版編集委員会・小学館国語辞典編集部『日本国語大辞典 第二版』全 13 巻 + 別巻、小学館、2000~2002。
- 8) 岡野幸夫「石黒武顕著『鳥取県方言分布の実態』の資料性」、『鳥取短期大学研究紀要』第 70 号（2014）、pp. 1-11。
- 9) 小林隆『感性の方言学』、ひつじ書房、2018。

別表1. 病気語彙

No.	見出語	品詞	森下 1999 による説明	日	境	米	西	倉	東	気	鳥	岩	八	他
1	あいご	名	わきが (腋臭).											鳥辞
2	あかがー	名	あかぎれ (輝).		○	○	○							
3	あかがい	名	あかぎれ (輝).		○	○								
4	あかがさ	名	はしか (麻疹).											鳥辞
5	あかがり	名	あかぎれ (輝).				○		○					
6	あかぎり	名	あかぎれ (輝).				○				○			
7	あかめ	名	トラホーム. 結膜炎.				○				○			
8	あきれ	名	あかぎれ (輝).											鳥辞
9	あせいぼ	名	汗疹. あせぼ.											鳥辞
10	あせいも	名	汗疹.											鳥辞
11	あせかぶれ	名	汗疹. あせぼ.								○	○		
12	あせぶ	名	汗疹.			○						○		
13	あせぼ	名	汗疹.			○					○			
14	あたはら	名	せんき (疝気).											鳥辞
15	あだはらやまい	名	せんき (疝気).											鳥辞
16	あだやまい	名	せんき (疝気).											鳥辞
17	ありか	名	わきが (腋臭).											鳥辞
18	いきやけ	名	霜焼け.			○	○			○				
19	いぎれ	名	あかぎれ (輝).										○	
20	いぐち	名	みつくち (兎唇).	○	○	○	○							
21	いたずき	名	病. 病気.											鳥辞
22	いんのくそ	名	ものもらい (麦粒腫). まぶたにできる腫れ物.											鳥辞
23	えぐち	名	みつくち (兎唇).				○							
24	えほえほ	名	いぼ (疣).											鳥辞
25	おたふくがいき	名	おたふくかぜ (お多福風邪). 流行性耳下腺炎.											鳥辞
26	おのめ	名	魚の目. 足の裏にできる豆粒状のもの.											鳥辞
27	おぼ	名	みっかばしか (三日麻疹).											鳥辞
28	おふくかぜ	名	耳下腺炎.				○							
29	がいき	名	風邪.				○			○	○	○	○	
30	がいけ	名	風邪.						○	○			○	
31	かいもち	名	てんかん (癲癇).									○		
32	かいもちかき	名	てんかん (癲癇).							○			○	
33	かったい	名	癩病. ハンセン病.								○			
34	かで	名	風邪.											鳥辞
35	かぼちゃ	名	癩病. ハンセン病.				○	○						
36	かまおい	名	せむし (偃瘦). 背骨が曲がっている病気.						○	○	○	○		
37	がまきんだま	名	脱腸. ヘルニア.											鳥辞
38	かますだんべ	名	脱腸. ヘルニア.											鳥辞
39	がまばれ	名	耳下腺炎.											鳥辞
40	がまやみ	名	癩病. ハンセン病.											鳥辞
41	からすおれ	名	こむらがえり (腓返り). 腓の筋肉のけいれん.											鳥辞
42	からすがえり	名	こむらがえり (腓返り).											鳥辞
43	からすない	名	こむらがえり (腓返り).										○	
44	からすなべり	名	こむらがえり (腓返り).											鳥辞
45	からすなめり	名	こむらがえり (腓返り).											鳥辞
46	からすまがり	名	こむらがえり (腓返り).											鳥辞
47	かわきやまい	名	糖尿病.		○	○	○	○			○	○		
48	ぎゃーけ	名	風邪.						○					
49	きゃーもち	名	てんかん (癲癇). けいれん (痙攣) を起こす病気.										○	
50	ぎゃく	名	おこり (瘧). 間歇熱の一種.											鳥辞
51	きよりごし	名	ぎっくり腰.	○				○		○				
52	きんよりーた	名	筋たがい.	○		○	○							

鳥取県方言における傷病・症状語彙に関する記述的考察

No.	見出語	品詞	森下 1999 による説明	日	境	米	西	倉	東	気	鳥	岩	八	他
53	きんよりごし	名	ぎっくり腰.	○										
54	くぐせ	名	せむし (偃瘻). 背骨が曲がる病氣.											鳥辞
55	くさまけ	名	皮膚炎. くさかぶれ.	○		○		○					○	
56	くさり	名	癩病. ハンセン病.			○								
57	くされ	名	癩病. ハンセン病.	○	○	○	○	○	○					
58	くずれ	名	癩病. ハンセン病.	○	○	○	○							
59	くそひり	名	赤痢.											鳥辞
60	くつせ	名	せむし (偃瘻). 背骨の曲がる病氣. 「せむし」の元の言葉.											鳥辞
61	くつち	名	てんかん (癩癇). 発作的に痙攣を起こす病氣.											鳥辞
62	くつま	名	せむし (偃瘻).											鳥辞
63	ぐり	名	しこり (癩). ねぶと (根太). 淋巴腺の腫れ.	○		○			○	○	○	○	○	
64	ぐりぐり	名	しこり (癩). ねぶと (根太). 淋巴腺の腫れ.	○		○	○		○	○	○	○	○	
65	くる	名	せむし (偃瘻). 背骨が曲がる病氣.								○			
66	げーけ	名	風邪.											○
67	げーもち	名	てんかん (癩癇). 発作的に痙攣を起こす病氣.											○
68	けんびき	名	肩の筋. 肩の筋の凝り.					○	○					○
69	けんびきかぜ	名	疲労からきた風邪.	○	○	○	○	○				○	○	
70	けんぶき	名	肩凝り.	○										
71	けんべき	名	肩凝り.			○	○							
72	こーで	名	手首の腱しょう炎. 捻挫.											○
73	ごーびょー	名	①癩病. ハンセン病. ②死の病.	○							○			
74	こがき	名	汗疹.			○								
75	こすりめ	名	トラホーム. 眼病.	○										
76	こっばん	名	じんましん (蕁麻疹). 発疹.					○	○	○	○	○	○	
77	こぶたん	名	こぶ (瘤).		○									
78	こぶらあがり	名	こむらがえり (腓返り). 足の筋肉が引きつること.	○		○	○	○	○			○	○	
79	こぼ	名	出来物. 腫れ物.											鳥辞
80	じしょー	名	赤痢.											鳥辞
81	じびゃ	名	持病.		○						○			
82	しぶりはら	名	赤痢.	○		○					○			
83	じべ	名	持病.								○			
84	しほりはら	名	赤痢.	○		○	○	○			○		○	
85	しもかぜ	名	赤痢.								○			
86	しもかぜ	名	疝氣. 漢方で腰や下腹の内臓が痛む病氣.								○			
87	しもばれ	名	霜焼け.								○			
88	しもぶくれ	名	霜焼け.			○	○							○
89	しょーかん	名	(死) チフス.								○	○		
90	しらたみ	名	疝氣. 漢方で腰などが痛む病氣.											鳥辞
91	しらほし	名	たむし (白癬). 皮膚病の一種.								○		○	
92	しりめぞ	名	蛔虫.								○			
93	しりめめず	名	蛔虫.								○			
94	せーこ	名	喘息. 慢性気管支炎.				○							
95	ぜーころ	名	喘息. 慢性気管支炎.				○					○		
96	ぜーぜー	名	喘息. 慢性気管支炎.				○				○			
97	せぐつ	名	せむし (偃瘻).											鳥辞
98	せこご	名	せむし (偃瘻). 背骨が曲がっている病氣.	○										
99	せこま	名	せむし (偃瘻).								○			
100	そっびょー	名	中風. 中氣.											鳥辞
101	たいふー	名	癩病. ハンセン病.								○			
102	だむし	名	蛔虫. 小腸に寄生する害虫.								○			
103	ちーき	名	中風.			○	○				○			
104	ちーけ	名	痢. 子供のひきつけ.		○	○	○							

No.	見出語	品詞	森下 1999 による説明	日	境	米	西	倉	東	気	鳥	岩	八	他
105	ちくそ	名	赤痢.								○			
106	ちりけ	名	いらいらしてのほせること. 痢. 癩癩. 気のいら立つ病氣.	○			○							江史
107	つーき	名	中風. 中氣.		○	○								
108	つと	名	こむらがえり (腓返り). こむらの筋肉のけいれん.											鳥辞
109	つとかぶら	名	こむらがえり (腓返り).											鳥辞
110	つとずね	名	こむらがえり (腓返り).											鳥辞
111	てんご	名	てんかん (癲癇) もち. てんかんを起こす人.			○	○							
112	てんごー	名	てんかん (癲癇).		○	○		○					○	
113	てんごかき	名	てんかん (癲癇) もち.			○	○	○						
114	とーがき	名	梅毒.											鳥辞
115	とじ	名	中風. 中氣.											鳥辞
116	としうで	名	リウマチ.											鳥辞
117	としやみ	名	老衰. 年寄の心身の衰え.		○	○	○	○				○	○	
118	とら	名	トラホーム. 結膜炎.											鳥辞
119	とらこーま	名	トラホーム. 結膜炎.					○	○					
120	とらほーがん	名	トラホーム. 結膜炎.											鳥辞
121	なすば	名	虫歯.						○				○	
122	なずびば	名	虫歯.	○					○				○	
123	なつがめ	名	夏痩せ.										○	
124	なつぶし	名	汗疹.											鳥辞
125	なめ	名	下痢.											鳥辞
126	なり	名	ハンセン病. 癩病.					○		○			○	
127	なりひら	名	ハンセン病. 癩病.											鳥辞
128	なりま	名	ハンセン病患者. 癩病患者.							○				
129	なりまつ	名	ハンセン病患者. 癩病患者.										○	
130	なんば	名	梅毒.											鳥辞
131	にきみ	名	にきび (面皰). 顔に出る吹き出物.	○										
132	にくも	名	にきび (面皰). 顔にできる吹き出物.								○			
133	ぬけび	名	にきび (面皰).											鳥辞
134	ねきび	名	にきび (面皰). 顔にできる吹き出物.	○			○							
135	ねこおい	名	せむし (偃瘻). 背骨が曲がっている病氣.		○	○								
136	ねこおーとる	名	せむし (偃瘻). 背骨の曲がっている病氣.										○	
137	ねこぜ	名	せむし (偃瘻). 背骨の曲がっている病氣.	○			○		○					
138	ねこぜな	名	せむし (偃瘻). 背骨の曲がっている病氣.										○	
139	ねつびょー	名	チフス.	○			○	○		○				
140	のどけ	名	ジフテリア.											鳥辞
141	のどしめ	名	ジフテリア.											鳥辞
142	はいろー	名	肺病. 肺結核.											鳥辞
143	はくさ	名	歯肉炎.		○									境史
144	はくらみ	名	めまい (目眩). 日射病.				○							
145	はくらん	名	かくらん (霍乱). 日射病.		○									
146	はさみばこ	名	耳下腺炎. おたふくかぜ.					○			○			
147	はさみばこかぜ	名	耳下腺炎. おたふくかぜ.											鳥辞
148	ばびふ	名	ジフテリア.								○			
149	はやーめ	名	流行眼. 流行性結膜炎.		○		○							
150	はやーやまい	名	流行病.	○			○							
151	はらくだー	名	下痢. 腹くだり.	○			○		○		○	○		
152	はらこき	名	おこり (瘧). 間歇熱の一種.											鳥辞
153	はらさげ	名	下痢. くだりばら.				○							
154	はらつーじ	名	下痢. くだりばら.				○				○		○	
155	はらとーし	名	下痢. くだりばら.				○	○		○				
156	はらにがり	名	腹痛.	○			○	○	○		○		○	

鳥取県方言における傷病・症状語彙に関する記述的考察

No.	見出語	品詞	森下 1999 による説明	日	境	米	西	倉	東	気	鳥	岩	八	他
157	はらのむし	名	蛔虫.				○	○		○				
158	はらむし	名	蛔虫. 小腸に寄生する害虫.				○							
159	ひーそん	名	胃病. 胃の病気.											鳥辞
160	ひーなめがさ	名	はしか (麻疹). ましん.											鳥辞
161	ひえ	名	梅毒. 性病の一種.											鳥辞
162	ひきかぜ	名	風邪.				○					○		
163	ひしね	名	いぼ (疣).	○										
164	びち	名	下痢. 腹くだり.	○	○	○		○	○		○	○	○	
165	びっちゅー	名	下痢. 腹くだり.	○				○				○		
166	ひみ	名	ひび(皸). 寒さのために, 指先の皮膚がかさかさになって裂けたもの.					○			○	○		
167	びりぐそ	名	下痢. 下痢便. 腹下り.				○							
168	ふーしつ	名	リウマチ.									○		
169	ふえーとー	名	ものもらい (麦粒腫).								○			
170	ふくよし	名	ハンセン病. 癩病.											鳥辞
171	ふぐりかぜ	名	疝気. 腰や下腹の痛む病気.											鳥辞
172	ふるいやまい	名	おこり (瘧). マラリア.	○								○		
173	へーこー	名	病気. 病.										○	
174	へなも	名	疱瘡. 天然痘.											鳥辞
175	へぼ	名	梅毒.											鳥辞
176	へぼかき	名	梅毒患者.											鳥辞
177	へぼがさ	名	梅毒.											鳥辞
178	へも	名	水痘. 水疱瘡. 風痘.											鳥辞
179	へもはん	名	水痘. 水疱瘡. 風痘.											鳥辞
180	ほいたー	名	ものもらい (麦粒腫). 眼瞼の腫れ物.	○		○						○		
181	ほいと	名	ものもらい (麦粒腫). 眼瞼の腫れ物.	○							○			
182	ほーし	名	ほろし. 皮膚にできるぶつぶつ.		○	○								
183	ほーたく	名	耳下腺炎. おたふく風邪.											鳥辞
184	ほーとく	名	耳下腺炎. おたふく風邪.	○	○	○		○	○	○				
185	ほーはっちょー	名	耳下腺炎. おたふく風邪.				○			○	○	○	○	
186	ほーはれ	名	耳下腺炎. おたふく風邪.									○		
187	ほろせ	名	蕁麻疹. ほろし.			○	○							
188	ほんご	名	せむし(偻). 背骨がかがまって弓なりに曲がる病気.				○		○					
189	ほんこおい	名	せむし(偻). 背中の丸くなった人.				○		○					
190	ましかがさ	名	はしか (麻疹).											鳥辞
191	まろーと	名	眼球に生じる斑点.									○		
192	まろーど	名	ものもらい (麦粒腫). まぶたにできる腫れ物.											鳥辞
193	まんご	名	冬の寒さで手の指が自由に動かないこと. 手足のしびれ.			○	○		○					
194	みずいも	名	水痘. 水疱瘡.											鳥辞
195	みそこーしおい	名	せむし(偻). 背骨の曲がっている病気.								○			
196	みそこしおい	名	せむし(偻). 背骨の曲がっている病気.								○			
197	みそこしおーとる	名	せむし(偻). 背骨の曲がっている病気.									○		
198	みつぐち	名	みつぐち (兔唇).						○					
199	むしかめ	名	虫菌.											鳥辞
200	むしかめば	名	虫菌.											鳥辞
201	むしくれば	名	虫菌.											鳥辞
202	めいぼ	名	ものもらい (麦粒腫). まぶたにできる腫れ物.						○	○	○	○		
203	めがさ	名	ものもらい (麦粒腫). まぶたにできる腫れ物.											鳥辞
204	めばち	名	ものもらい (麦粒腫). 眼瞼に出来る腫れ物.								○			
205	めばちこ	名	ものもらい (麦粒腫). 眼瞼に出来る腫れ物.	○							○			
206	めぼ	名	ものもらい (麦粒腫). 眼瞼に出来る腫れ物.			○				○	○			
207	めぼいた	名	ものもらい (麦粒腫). 眼瞼に出来る腫れ物.				○			○			○	日誌

No.	見出語	品詞	森下 1999 による説明	日	境	米	西	倉	東	気	鳥	岩	八	他
208	めばいと	名	ものもらい (麦粒腫). 眼瞼に出来る腫れ物.	○		○	○				○			
209	めもらい	名	ものもらい (麦粒腫). 眼瞼に出来る腫れ物.											鳥辞
210	もがさ	名	天然痘.									○		
211	もちやまい	名	持病.			○						○		
212	もの	名	出来物. 腫れ物.	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
213	ものよし	名	癩. 癩病. ハンセン病.											鳥辞
214	やく	名	疾病. 病気.			○	○					○		
215	やくびゃ	名	疫病. 流行病.											鳥辞
216	やみめ	名	流行眼. 流行性結膜炎.				○					○		
217	やんめ	名	流行眼.										○	
218	ゆきやけ	名	霜焼け.	○		○	○		○	○	○	○	○	
219	よいよい	名	中風. 中気.			○	○				○			
220	よーのめ	名	魚の目. 足の裏にできる豆粒状の角質.	○								○		
221	よんべけ	名	昨夜の疲れ.	○	○	○	○							
222	らーびょー	名	ハンセン病. 癩病.				○							
223	りゅーいん	名	慢性胃カタル.	○									○	
224	れーびょー	名	ハンセン病. 癩病.											鳥辞
225	ろいまちす	名	リウマチス. リウマチ.											鳥辞
226	わいご	名	腋臭.							○				
227	わえご	名	腋臭.											鳥辞
228	わきくさ	名	腋臭.									○		
229	わきくそ	名	腋臭.											鳥辞
230	わきご	名	腋臭.									○		
231	わきのか	名	腋臭.											鳥辞
232	わきのこ	名	腋臭.				○					○		
233	わきわご	名	腋臭.											鳥辞
234	わご	名	腋臭.									○		
235	わんご	名	腋臭.											鳥辞

別表 2. 怪我語彙

No.	見出語	品詞	森下 1999 による説明	日	境	米	西	倉	東	気	鳥	岩	八	他
1	あーまち	名	①怪我. ②失敗. あやまち.	○		○								
2	あーまつ	名	①怪我. ②あやまち.			○	○							
3	あいまち	名	①怪我. 傷. ②あやまち.	○		○	○	○	○	○			○	
4	あえまず	名	怪我. 傷.			○	○							
5	あらぎ	名	あざ (痣).											鳥辞
6	きがけが	名	傷. けが.			○								
7	きじ	名	傷. 怪我.			○	○							
8	きつぼ	名	傷. 傷跡.	○										
9	けじ	名	傷. 怪我.			○	○							
10	けず	名	傷.	○		○	○							
11	しきね	名	(病人の) 床ずれ.										○	
12	ぞーりくい	名	鼻緒ずれ.											鳥辞
13	ちまぐる	名	皮下出血.			○							○	
14	べんべ	名	(幼) ①血. ②傷.			○	○	○	○					
15	ほーちゃく	名	傷が膿むこと. 化膿.	○		○	○							
16	ほやけ	名	痣. 皮膚にできる変色部分.											鳥辞

別表3. 症状語彙

No.	見出語	品詞	森下1999による説明	日	境	米	西	倉	東	気	鳥	岩	八	他	
1	こち	名	せき(咳).						○						
2	こつ	名	せき(咳).	○			○								
3	こつこつ	名	せき(咳).	○					○						
4	こつり	名	せき(咳).											鳥辞	
5	こほん	名	せき(咳).						○						
6	こんこ	名	せき(咳).						○						
7	こんこん	名	せき(咳).						○						
8	しびな	名	痺れ.								○				
9	しびない	名	痺れ.	○		○	○		○	○	○				
10	しびなり	名	痺れ.			○		○			○				
11	しびりない	名	痺れ.			○									
12	しぶない	名	痺れ.								○				
13	しぶれ	名	しび(痺)れ.			○	○				○				
14	しわぶき	名	せき(咳).								○	○			
15	ずわぶき	名	咳. しわぶき.			○	○				○				
16	たぐり	名	咳.									○	○		
17	あえら	動	喘ぐ. 息切れがする.									○	○		
18	あくばる	動	飽きる. 飽きがくる. いやになる. 疲れる. 持て余す.	○			○	○	○	○					
19	あぐむ	動	弱る. 困る.		○	○	○			○					
20	あげー	動	吐く. 戻す.			○	○								
21	あげる	動	(色)褪せる. 衰える.										○		
22	あじー	動	もが(腕)く. あがく.	○											
23	あじる	動	もが(腕)く. もだえ苦しむ.			○	○								
24	あずる	動	①もが(腕)く. 手足を苦しうに動かす. ②困る. ③動く. 動き回る. 睡眠中に移動する.	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
25	いきせききる	動	喘ぐ. 息をきらす.	○		○	○	○			○	○			
26	いきせく	動	喘ぐ. 息をきらす.						○			○	○		
27	いづく	動	吐く. 嘔吐する.	○											
28	いたしがる	動	①苦しむ. ②気の毒に思う.	○		○	○								
29	いだる	動	いらだつ. 皮肉に困却する. じりじりする.					○		○	○	○	○		
30	いらづく	動	いらいらする. いらだつ. 心が落ち着かない.	○		○	○	○			○		○		
31	いらつ	動	苛立つ. じりじりする.											○	
32	うぐう	動	化膿して苦痛を感じる. 灸の傷跡が化膿する. 悪化する.								○	○	○	○	
33	うごうごする	動	(身体の一部が)しびれる.											○	
34	うずよー	動	呻く. 唸る.											鳥辞	
35	うずらう	動	呻く. (苦しくて)唸る.	○		○	○	○	○	○					
36	うずろー	動	苦しむ. 唸る. (病気などで)呻く.	○	○	○	○	○	○						
37	うだばれる	動	腫れる. むくんで腫れる. むくむ.			○	○	○			○	○	○		
38	うてる	動	①生気がなくなる. (魚が)弱る. ②打ち傷がつく.							○					
39	うとける	動	ぼ(惚)ける.							○					
40	うどむ	動	唸る. 呻く. 響く.				○				○		○		
41	うんずこく	動	(非常に)困る. 悩む.										○		
42	えづく	動	嘔吐する. 吐く. 吐きもどす.	○				○	○		○	○	○		
43	えたく	動	吐く. 嘔吐する.											鳥辞	
44	えたしがる	動	苦しむ. 苦しがる.			○	○								
45	えらがる	動	苦しむ. 苦しがる.	○		○	○	○	○		○	○	○		
46	おーじょーこく	動	困る. 弱る.	○	○	○	○	○	○		○				
47	おーじょーする	動	困る. 弱る. まいる.					○	○				○		
48	おがく	動	もがく. あがく.					○				○			
49	おじろー	動	唸る. 痛がって苦しむ. 呻く.			○	○								
50	おづく	動	疼く.			○	○								
51	おなる	動	泣き叫ぶ. 大声をあげてわめく. 唸る.							○		○	○		

No.	見出語	品詞	森下 1999 による説明	日	境	米	西	倉	東	気	鳥	岩	八	他
52	おぼる	動	(腫瘍が) 疼く.	○										
53	おめく	動	呻く.			○	○				○	○		
54	かがえる	動	凍える. 寒さのために, 体の感覚がなくなる.											鳥辞
55	かじける	動	冷え縮む. 寒さで小さくなる.					○			○			
56	かせる	動	かぶれる. 漆や薬品などに触れて皮膚に炎症がおこる. まける.											鳥辞
57	かみにもつ	動	吐く. 嘔吐する. 吐き戻す.											鳥辞
58	がめる	動	やつれる. がっかりする. 意気消沈する. 閉口する. 弱る.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
59	かやす	動	吐く. 嘔吐する.											鳥辞
60	きあがりする	動	のぼせる. くらくらする. 血迷う.								○			
61	きがいれる	動	じれったい. もどかしい. いらだたしい. 待ち遠しい.								○	○		
62	きがせれる	動	いらいらする. 気がせく. 苛立つ.	○		○	○	○			○	○		
63	きゅーせる	動	急く. 気を急ぐ. あせる.	○			○	○			○	○		
64	くーしむ	動	苦しむ. 悩む.											鳥辞
65	くじる	動	(打ち身をして) 腫れる.										○	
66	ぐずめく	動	胸苦しくなる.											鳥辞
67	くたばる	動	①死ぬ. 亡くなる. ②弱る. 衰弱する.	○		○	○	○	○		○	○	○	
68	くたぶれる	動	①疲れる. くたびれる. ②弱る.			○	○	○	○	○	○	○	○	
69	けずむ	動	湯水などが胸につかえてせく.					○						
70	ける	動	蹣跚する.				○				○	○		
71	こじける	動	冷える. 冷え縮む. かじかむ. 凍る.	○			○	○	○	○			○	
72	こずける	動	①凍える. ②砕ける.	○	○	○	○							
73	ごたくれる	動	①死ぬ. 亡くなる. ②くたびれる. 疲れる.			○								
74	こちける	動	冷える. 凍える.		○		○	○	○					
75	ごねる	動	①「死ぬ」の卑語. ②ねじれる. ③くたびれる. 疲れる.	○			○						○	
76	こわしゃぶる	動	堅くなる. こわばる.				○							
77	こわる	動	堅くなる. こわばる.										○	
78	こんきーがる	動	苦しむ. 苦しがる.											鳥辞
79	したしがる	動	苦しむ.	○										
80	しっべる	動	痺れる.		○	○								
81	しばたれる	動	衰える. 萎れる.								○	○		
82	しばなえる	動	衰える. 萎れる.								○	○	○	
83	しみる	動	凍える. 寒さで体の感覚がなくなる.	○		○	○	○	○		○	○	○	
84	しゃーじらかす	動	いらだたせる. 心をいらいらさせる.			○	○							
85	じんぐる	動	もがく. あがく.		○	○	○							
86	しんばれる	動	のぼせる. 血がのぼってくらくらする. 血迷う.								○		○	
87	すくれる	動	凍える. 寒さでがたがた震える.									○		
88	すばとー	動	もが(腕)く. もだえ苦しむ. あがく.											鳥辞
89	すばる	動	衰える. みすほらしくなる. 精気がなくなる. 不景気な話になる.					○	○		○			
90	せーかく	動	焦る. いらだつ.											鳥辞
91	せーもむ	動	焦る. いらだつ. 急く.								○			
92	せかかせる	動	いらだたせる. じりじりさせる.				○				○			
93	せぐる	動	吐く. 嘔吐する. 嘔吐を催す.											鳥辞
94	せんきおやむ	動	案じる. 心配する.	○							○	○	○	
95	たがう	動	脱臼する. 関節が外れる.	○		○	○	○			○		○	
96	たぐる	動	咳をする. しわぶく.										○	
97	たぐるう	動	もがく. あがく. もだえ苦しむ.											鳥辞
98	たじくじする	動	よろめく. よたよたする.			○	○							
99	たわたわする	動	ふらつく. 足元がふらふらする. よたよたする. よたつく.	○	○	○	○	○				○	○	
100	つかえる	動	弱る. 衰弱する.								○			
101	どどーくる	動	吃る.	○		○	○							
102	どどくー	動	吃る.	○	○	○								

鳥取県方言における傷病・症状語彙に関する記述的考察

No.	見出語	品詞	森下 1999 による説明	日	境	米	西	倉	東	気	鳥	岩	八	他
103	どどくる	動	吃る.	○		○	○		○					
104	にがる	動	痛む. 腹痛がする. 腹がしくしく痛む. 苦しむ.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
105	の一ずる	動	苦しむ. 苦勞する. 困る.											鳥辞
106	はごむ	動	いきりたつ. 怒って興奮する.				○							
107	はしゃぐ	動	①うかれる. うきうきして調子づく. ②のぼせる. 夢中になる. 血迷う.	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
108	はしらぐ	動	①うかれる. うきうきして調子づく. 調子にのって騒ぐ. ②のぼせる. 夢中になる. 血迷う. ③乾燥する. 乾く.				○	○	○	○			○	
109	はしる	動	①痛む. ずきずき痛む. ひりひりする. ②木材などが乾燥して割れる.	○	○	○	○	○	○	○	○		○	日誌
110	はっしゃぐ	動	①のぼせる. 夢中になる. 血迷う. ②うかれる. 喜んで騒ぐ.	○			○		○		○		○	
111	はばむ	動	腫れる. 打撲などでそこがふくれる.										○	
112	はれかぶる	動	腫れる. 打撲などでそこがふくれる.										○	
113	ひとついきになる	動	喘ぐ. 息を切らす.				○	○						
114	ひやぐ	動	冷える.											鳥辞
115	ひやける	動	冷える. 冷たくなる.					○					○	
116	ひよろずく	動	よろめく.	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
117	ひよろひよろする	動	よろめく.	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
118	ひよろめく	動	よろめく.			○			○		○	○		
119	ふ一つく	動	(寒さや病気で) 震える.		○	○	○							
120	ふらずく	動	よろめく. ふらつく.		○									
121	へこむ	動	①弱る. 閉口する. ②引っ込む.	○			○				○	○	○	
122	へこる	動	弱る. 閉口する.											鳥辞
123	へたばる	動	①うずくま(蹲)る. かがむ. ②弱る. 疲れる.		○	○	○	○	○		○	○	○	
124	へろずく	動	よろめく. よろよろする.	○			○					○		
125	ほーける	動	飽きてくたびれる.					○		○		○		
126	ほーける	動	毫釐する. 頭がぼーっとする.	○			○						○	
127	ほげる	動	火照る. 顔や体などが熱くなる.											鳥辞
128	ほちる	動	(灸の跡などが) 水ぶくれになる. (灸が) 化膿する.		○									境史
129	ほろける	動	毫釐する. 老いぼれる. 役に立たなくなる.	○		○						○		
130	まくる	動	(目が) くらむ.											鳥辞
131	まける	動	かぶれる. 皮膚に炎症がおこる.	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
132	ままこーる	動	凍える.										○	
133	むかづく	動	嘔吐を催す. 吐きけを催す.	○			○	○	○			○	○	
134	むちよける	動	ただれる. 肉が腐って皮膚がくずれる.						○					羽史
135	めこく	動	苦しむ. 苦勞する.		○									
136	もがる	動	苦しむ. 苦しみ悶える.										○	
137	よどむ	動	吃る. 話すとき同じ音を繰り返す.										○	
138	よろける	動	弱る. 疲れる.	○				○	○		○	○	○	
139	よろつく	動	よろめく. よろける.	○			○				○	○		
140	よろぼう	動	よろめく. よろける.											鳥辞
141	わなる	動	叫ぶ. 唸る. うめく.				○			○	○	○	○	
142	んめく	動	①呻く. 唸る. ②叫ぶ.				○							
143	いたー	形	痛い.	○		○		○			○	○		
144	いたしー	形	痛々しい. 苦しい. 難儀である.	○	○	○	○							
145	いたしー	形	疲れた. 苦痛だ.	○			○							
146	いちゃー	形	痛い.				○	○	○					
147	いらい	形	苦しい. つらい.	○			○							
148	うずらしー	形	うっとうしい.	○										
149	うたてー	形	気持ちが悪い. 気分が悪い.											鳥辞
150	えたしー	形	(精神的. 肉体的に) 苦しい.		○		○							
151	えちゃ	形	痛い.		○	○	○							
152	えて	形	痛い.		○	○	○		○		○			

No.	見出語	品詞	森下 1999 による説明	日	境	米	西	倉	東	気	鳥	岩	八	他
153	おったくらしー	形	うっとうしい。すつきりしない。気分がわるい。			○	○							
154	おっとしゅー	形	うっとうしい。晴れやかでない。	○										
155	かいー	形	痒い。	○					○				○	
156	きせがましー	形	もどかしい。いらだたしい。			○	○							
157	くつえー	形	くすぐったい。				○							
158	くつつあい	形	くすぐったい。こそばゆい。						○					
159	くつばい	形	くすぐったい。こそばゆい。					○			○		○	
160	くつばかしー	形	くすぐったい。									○		
161	くつびゃー	形	くすぐったい。こそばゆい。											鳥辞
162	くつわい	形	くすぐったい。こそばゆい。					○	○	○			○	
163	こあい	形	疲れた。だるい。	○										
164	こそぐったい	形	くすぐったい。			○	○				○			
165	こそばい	形	くすぐったい。	○		○	○	○	○		○			
166	こそばしー	形	くすぐったい。	○	○	○		○				○		
167	こつわいー	形	くすぐったい。											鳥辞
168	こわい	形	疲れた。くたびれた。	○				○						
169	しーどい	形	疲れた。	○										
170	じしない	形	苦しい。つらい。		○	○								
171	じしにゃ	形	病気。病。		○	○								
172	じつない	形	苦しい。											鳥辞
173	じゅしない	形	苦しい。つらい。											鳥辞
174	じゅつない	形	苦しい。つらい。											鳥辞
175	しんきくさい	形	面倒な。うっとうしい。	○		○		○	○		○		○	
176	しんど	形	苦しい。疲れた。	○		○	○				○	○		
177	しんどい	形	①苦しい。疲れた。②厳しい。	○		○	○	○	○		○	○		
178	ずしにゃ	形	苦しい。つらい。											鳥辞
179	ずすない	形	(病気などで) 苦しい。痛々しい。						○					羽史
180	ずつない	形	苦しい。つらい。											鳥辞
181	せこい	形	疲れた。くたびれた。								○			
182	せちね	形	苦しい。つらい。											鳥辞
183	せつい	形	苦しい。つらい。	○	○	○	○							
184	せつない	形	苦しい。つらい。				○		○					
185	せつにゃー	形	せつない。苦しい。				○		○					
186	だいー	形	だるい。疲れた。	○					○	○	○		○	
187	たゆい	形	だるい。								○			
188	なやましー	形	つらい。耐え難い。	○	○	○		○				○	○	
189	はがい	形	じれったい。面倒くさい。くやしい。		○	○	○							
190	はしかい	形	(肌が) 痒い。	○			○							
191	なんぎ	形動	①難しい。厄介な。②貧乏な。③苦しい。	○		○	○	○	○		○	○	○	
192	ほげほげ	副	老いるさま。老いぼれるさま。			○	○			○	○	○	○	
193	えらい	副・形	①ひどく。たいそう。たいへん。非常に。②苦しい。つらい。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
194	うねがいる	句	胸が焼ける。胸焼けする。		○									
195	うねたがわるい	句	胸くそがわるい。腹が立つ。立腹する。		○	○								
196	ぞんぞがつく	句	①非常に寒気がする。ぞくぞくする。寒さで震える。②恐ろしくて身震いがする。	○	○	○	○		○				○	
197	てぐーひく	句	寝小便をする。		○									境史
198	はらがにがる	句	腹が痛む。				○	○			○	○		
199	あおけた	連	顔色が青い。青白い。										○	
200	きーせらせる	連	いらだたせる。気をもませる。			○	○	○	○		○		○	
201	きゅーせらせる	連	いらだたせる。いらいらさせる。心をあせらせる。					○	○				○	
202	ござった	連	①亡くなった。死んだ。②くたびれた。							○	○	○	○	
203	やーせがにゃ	連	やるせない。じっとしてられない。	○		○								

別表4. その他の語彙

No.	見出語	品詞	森下 1999 による説明	日	境	米	西	倉	東	気	鳥	岩	八	他
1	あーくび	名	あくび (欠伸).		○	○								
2	あかか	名	(幼) ①血. ②酒.		○									
3	あがたち	名	病気の回復期.		○	○	○							
4	あかぶぶ	名	血.											鳥辞
5	あせらく	名	あばた (痘痕).											鳥辞
6	あとむ	名	後遺症.		○									
7	あばしる	名	①泡汁. ② (腫物などの) 膿汁.											鳥こ
8	いながー	名	寝小便. 夜尿.				○							
9	いながら	名	夜尿. 寝小便.		○	○	○							
10	いびたり	名	寝小便. 夜尿.											鳥辞
11	いらおこし	名	癩癩持ち. 怒りやすい性質の人.							○		○	○	
12	いれぼーそ	名	種痘. うえほうそう (疱瘡).		○	○	○							
13	うなくそ	名	胸くそ. むねくそ.		○	○	○							
14	うねくそ	名	胸くそ. 気分. 気持ち.					○	○					
15	えき	名	嘔吐. 嘔吐物. 吐くこと.						○					
16	えずき	名	嘔吐. 嘔吐物. 吐いてもどすこと. へど.	○		○	○		○	○	○	○	○	
17	えた	名	嘔吐. へど (反吐).											鳥辞
18	えれぼーそ	名	種痘.			○	○							
19	おきやくさん	名	月経. メンス.						○	○				
20	おくみ	名	おくび. げっぶ.				○							
21	おぞんぞ	名	寒さや怖さなどで生じる鳥肌.						○					
22	おねくそ	名	胸くそ. 気持ち.			○	○				○			
23	おやくめ	名	月経. メンス.											鳥辞
24	がり	名	癩癩持ち. 怒りやすい性質 (人).											鳥辞
25	かりや	名	月経. メンス.											鳥辞
26	がんきー	名	癩癩持ち. 怒りやすい性質 (人).											鳥辞
27	かんさー	名	癩癩持ち. 怒りやすい性質 (人).											鳥辞
28	かんさい	名	癩癩持ち. 怒りやすい性質 (人).											鳥辞
29	かんしゃ	名	癩癩. 怒りやすい性質.					○						
30	がんとー	名	斜視. 藪覗み.											鳥辞
31	ぎく	名	しゃっくり.											鳥辞
32	きくり	名	しゃっくり.											鳥辞
33	きしよく	名	気持ち. 気のあり方.	○	○	○	○	○			○	○		
34	きっぱ	名	あばた (痘痕).	○										
35	きゃくそ	名	胸くそ. 気分. 気持ち.	○	○	○	○							
36	ぐしゃ	名	あばた (痘痕). 天然痘の治った痕.											鳥辞
37	くっさめ	名	くしゃみ. くさめ.											鳥辞
38	くっしゃみ	名	くしゃみ. くさめ.					○		○				
39	くっしゃん	名	くしゃみ. くさめ.							○		○		
40	くつち	名	いびき (鼾). 「いびき」の元の言葉.											鳥辞
41	けーすい	名	月経. メンス.											鳥辞
42	けがれ	名	月経. メンス.				○		○				○	
43	げっぼ	名	げっぶ. おくび.						○	○				
44	げと	名	反吐. 嘔吐.											鳥辞
45	げふ	名	おくび. げっぶ.							○	○	○	○	
46	げんくそ	名	運. 縁起. 気持ち.	○		○	○	○	○	○	○		○	
47	こい	名	月経. メンス.											鳥辞
48	ごいさぎ	名	夜泣き.				○	○			○			
49	こいなる	名	月経. メンス.											鳥辞
50	こーもつ	名	心持ち. 気持ち.			○	○							
51	ここーもち	名	気持ち. 心持ち.		○									
52	ここめひき	名	吃り. 吃ること. またはその人.											鳥辞

No.	見出語	品詞	森下 1999 による説明	日	境	米	西	倉	東	気	鳥	岩	八	他
53	こまもの	名	反吐.				○							
54	こまものみせ	名	反吐.				○							
55	さぶいぼ	名	寒気. 鳥肌.							○			○	
56	しゃがん	名	藪睨み. 斜視.								○			
57	じゃぎ	名	あばた (痘痕).	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
58	じゃぎっぼ	名	あばた (痘痕).				○							
59	じゃぎま	名	あばた (痘痕).							○	○			
60	しゃくり	名	くさめ. くしゃみ.	○		○	○							
61	じゃげ	名	あばた (痘痕).											鳥辞
62	しゃべたねー	名	あばた (痘痕).											鳥辞
63	じゃんか	名	あばた (痘痕).											鳥辞
64	じゃんこ	名	あばた (痘痕).									○	○	
65	しらふき	名	夜尿. 寝小便.								○			
66	すがめ	名	藪睨み. 斜視.	○	○						○	○		
67	たいぼー	名	屁. 放屁.								○			
68	たぐり	名	反吐. 吐きもどすこと.											鳥辞
69	だだくり	名	吃り.								○			
70	たや	名	月経. メンス.											鳥辞
71	たわい	名	反吐. 嘔吐.											鳥辞
72	たんつば	名	痰.	○		○	○	○			○	○		
73	たんつばけ	名	痰.				○				○			
74	ちゃご	名	夜泣き. 赤ん坊の夜泣き.											鳥辞
75	つーじ	名	①下痢. ②大便.	○		○			○	○	○		○	
76	つきのめぐり	名	月経. メンス.				○				○			
77	つきのもの	名	月経. メンス.	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
78	つきやく	名	月経. メンス.	○		○				○	○			
79	てなし	名	月経. メンス.											鳥辞
80	とぜん	名	退屈. 淋しさ.	○									○	
81	どど	名	吃り.	○		○	○	○	○					
82	どどくり	名	吃り. 吃る人.	○		○	○	○		○				
83	どどくりむし	名	吃り. 吃る人.					○						
84	どもー	名	吃り.	○			○							
85	なら	名	おなら. 屁.											鳥辞
86	ねしょーべ	名	寝小便. 夜尿.	○			○	○			○		○	
87	はくせん	名	くしゃみ. くさめ.							○				
88	はちべー	名	月経. メンス.											鳥辞
89	はっくせん	名	くしゃみ. くさめ. はくしょん.					○						
90	はなみじ	名	鼻水.				○							
91	はらくそ	名	胸くそ. 腹の底から悪く思うこと.	○	○	○	○	○						
92	ひー	名	体力. 体質.											鳥辞
93	ひがら	名	藪睨み. 斜視.	○							○	○	○	
94	ひがらめ	名	ひがめ (僻目). すがめ.					○			○	○	○	
95	ひのまる	名	月経. メンス.							○				
96	ひょくり	名	しゃっくり. さくり.				○					○		
97	ひょこり	名	しゃっくり. さくり.									○		
98	ひんがなめ	名	すがめ (眇). 斜視. 藪睨み.								○	○		
99	ひんがらめ	名	すがめ (眇). 斜視. 藪睨み.	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
100	ぶー	名	屁.		○						○	○		
101	べつ	名	月経. メンス.							○				
102	へど	名	嘔吐. 嘔吐物. 吐くこと.									○	○	
103	へんど	名	反吐. 嘔吐物. 吐きもどすこと.	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
104	へんどー	名	嘔吐物. 吐くこと.	○			○		○	○	○	○	○	
105	ほーそーじゃぎ	名	あばた (痘痕).						○					

鳥取県方言における傷病・症状語彙に関する記述的考察

No.	見出語	品詞	森下 1999 による説明	日	境	米	西	倉	東	気	鳥	岩	八	他
106	ほーそじゃぎ	名	あばた (痘痕).		○									
107	ぼん	名	屁.			○	○				○			
108	ままなき	名	吃り. どもること (人).											鳥辞
109	みすなや	名	あばた (痘痕). 天然痘のなおった痕.											鳥辞
110	みっちゃ	名	あばた (痘痕). 天然痘がなおった痕.											鳥辞
111	めぐり	名	月経. メンス.										○	
112	めっちゃ	名	あばた (痘痕). 天然痘がなおった痕.											鳥辞
113	やく	名	月経. メンス.											鳥辞
114	やぶにらめ	名	藪睨み. 斜視.			○	○					○		
115	やぶねらみ	名	藪睨み. 斜視.	○	○		○	○	○			○	○	
116	やぶねらめ	名	藪睨み. 斜視.			○	○					○		
117	やぶねらん	名	藪睨み. 斜視.				○							
118	よーばり	名	寝小便. 夜尿.				○		○	○			○	
119	よーばれ	名	寝小便.					○		○				
120	よーよー	名	嘔吐. 嘔吐物. 吐くこと.						○					
121	よじと	名	寝小便. よばり.											鳥辞
122	よっぱり	名	寝小便. 夜尿.											鳥辞
123	よばー	名	寝小便. 夜尿.											鳥辞
124	よばり	名	寝小便. 夜尿.	○										
125	よんばり	名	寝小便. 夜尿.	○										
126	よんばれ	名	寝小便. 夜尿.				○							
127	ん	名	うみ (膿).				○							
128	あやかす	動	(できものの) 膿を出す.			○	○				○			
129	あやす	動	(できものの) 膿を出す.			○	○				○			
130	ぐずる	動	ねだる. むずかる. ゆする. 怒る.				○	○	○	○			○	
131	けずむ	動	いきむ. いきばる.						○					
132	かんちよろい	形	弱い. 弱弱しい.									○	○	
133	かんちろい	形	弱い. 弱弱しい.									○		
134	やさい	形	弱弱しい.	○		○		○	○					
135	よーや	形	弱い.											鳥辞
136	よやー	形	弱い. (勢いや力が) 乏しい.				○		○					
137	よわや	形	弱い.											鳥辞
138	ひにゃひにゃすっぼ	形?	弱弱しい.											鳥辞
139	ひよなひよな	形?	弱弱しい. なよなよしい.	○			○					○		
140	えらげな	形動	苦しそうな. つらそうな.				○	○		○				
141	かんちよるな	形動	①病弱な. 脆弱な. ②粗製な.									○	○	○
142	しんきな	形動	退屈な. 暇であきあきする.			○	○				○			
143	せんじゃくな	形動	弱弱しい.											鳥辞
144	たいぎ	形動	退屈. 嫌い.				○	○	○					
145	ちゃーぎな	形動	退屈な. 大儀な.						○		○			
146	てやーぎな	形動	退屈な. 何もすることがない.	○		○	○					○	○	
147	にんじゃくな	形動	弱弱しい. 弱い.										○	
148	のーがにゃー	形動	退屈である. することがない.			○	○		○					
149	ひじゃくな	形動	弱弱しい. 弱そうな.	○		○						○		
150	ひにゃくな	形動	弱弱しい.									○	○	
151	ひにゃくにゃ	形動	弱弱しい.									○	○	
152	ふにゃけ	形動	弱弱しい. きゃしゃ (華奢) である.	○		○						○		